

少しでも危険を感じたら早めに避難を

今年も河川の出水期を迎えました。円山川の下流に位置する豊岡盆地周辺は緩やかな勾配のため、氾濫が非常に起きやすい地形です。また、「ゲリラ豪雨」と呼ばれる局地的で短時間に猛烈な雨が降る回数も確実に増えています。

被害を最小限に抑えるため「自分たちの命は自分たちで守る」という心構えと日頃からの準備、そして家庭や地域での連携と助け合いを、ぜひ、お願いします。

《問合せ》防災課 ☎23-11111

防災マップを活用しましょう！

防災マップを活用して、自分の住んでいる場所の災害リスクを確認し、自分が避難所などに「逃げる人」なのか、自宅の2階以上の山とは反対側の部屋に「とどまる人」なのかを確認しましょう。そして「いつ・誰と・どこへ」逃げるかあらかじめ決めておくてください。日頃からイメージトレーニングしておきましょう。

防災マップは平成29年に全戸配布していますが、手元に無い方は市ホームページから「防災マップ」で検索すればダウンロードできます。

もう1度確認！ 市の避難情報

避難情報は4種類あります。災害の危険が高まると「避難準備・高齢者等避難開始」を発令します。さらに危険が迫ると「避難勧告」、さらには「避難指示(緊急)」を発令します。また、夜間に避難準備・高齢者等避難開始以上の情報を発令する可能性がある場合は、自主避難所を開設し「早めの自主避難」を呼び掛けます。

河川の排水ポンプを停止することがあります

円山川の水位(立野水位観測所)が7.16mを超え、さらに上昇する恐れがある場合は、

堤防の決壊という、人命に関わる最悪の事態を防ぐため、あらかじめ防災行政無線放送等で周知の上、排水ポンプを停止します。このため、内水位が一気に上昇し、避難場所などへの水平避難が困難になります。

出水期に『備える』ための大切なポイント

▼防災情報を確認

市内の気象情報や雨量情報、河川の水位情報、その他必要な情報を自ら進んで入手しましょう。

- テレビ・ラジオ：台風などの進路予測、気象予報・警報などが入手できます。テレビのデータ放送が便利です(リモコンのdボタン)

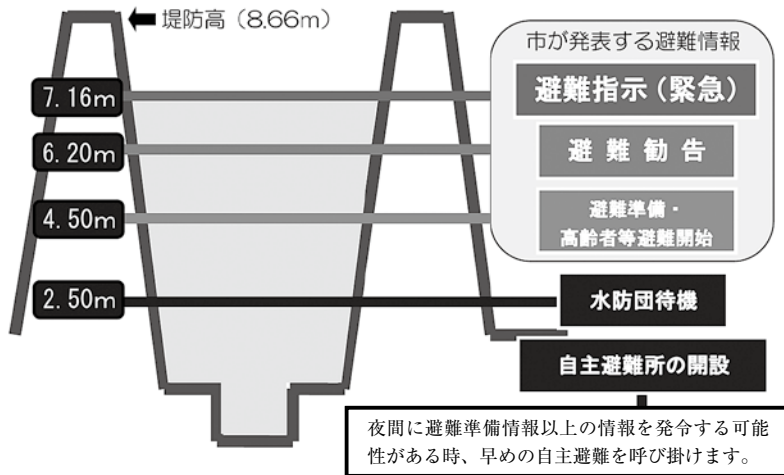
- 防災行政無線放送：台風情報や市内の主な河川の水位情報、避難勧告等の発令情報などをお知らせします。聴覚障害のある方には、ファクスで放送内容をお知らせします(要申込み)。

警戒レベル(5段階)が導入されます!

情報の意味を直感的に理解できるようにするため、本年度から防災情報を5段階の警戒レベルで提供し、皆さんの避難行動を支援できるよう国の「避難勧告等に関するガイドライン」が改定されました。

警戒レベル	避難行動を促す情報	皆さんが取るべき行動	備考
警戒レベル5 (最大)	災害発生情報 (できる範囲で発表)	既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動を取る。	
警戒レベル4	避難指示(緊急)	危険が迫っており、直ちに避難を終了する。直ちに避難を終了できない場合は、命を守るため、建物の2階以上で山とは反対側の部屋に避難する。	市が発令
	避難勧告	避難を開始する。	
警戒レベル3	避難準備・高齢者等避難開始	災害時に援護を必要とする人は、避難を開始する。避難の準備を開始する。	
警戒レベル2	大雨注意報など	避難に備え自らの避難行動を確認する。	気象庁が発表
警戒レベル1	台風の接近など	災害への心構えを高める。防災気象情報等の最新情報に注意する。	

河川水位の危険度レベルと避難情報



避難情報の基準となる立野水位観測所(例)の水位

注意!!

台風などの接近時に、河川や田畑の様子を見に行くことは大変危険です。絶対にしないでください。

○ひょうご防災ネット(アプリ版)：兵庫県および県内の市・町から「避難に関する情報」などの緊急情報や、地震、津波、気象警報などの防災に関するさまざまな情報をプッシュ通知します。また、自身で考えた避難行動に移るタイミング(逃げ時)や避難場所をアプリ内「カード」に保存でき、保存

した逃げ時に関する情報をプッシュ通知で受け取ることもできます。
ダウンロード
①下記QRコードを読み取ってダウンロードしてください。
または「App Store」「Google Play」の「ひょうご防災」を検索してください。

Android用



iOS用



②アプリを起動し、言語や市・町等の初期設定をしてください。

○とよおか防災ネット：登録すると、避難準備・高齢者等避難開始や避難勧告、避難指示(緊急)などの防災情報メールが携帯電話に配信されます。ぜひ、登録してください。

登録方法

①toyooka@bosainet 宛てに空メールを送信してください。または、左記QRコードを読み取り、空メールを送信してください。

②空メールを送ると、間もなく返信メールが届きます。

※空メールを送ったのに返信メールが届かない場合は、受信できるように携帯電話の設定をしてください(携帯電話本体の操作に関しては、購入先の携帯電話会社に直接問い合わせください)。



※防災情報は、国土交通省や気象庁、兵庫県、市などのホームページでも入手できます。

非常持ち出し品を準備

いざというとき、避難所に避難するため、ペットボトル1本、食料1〜2食分、防寒具などの非常持ち出し品を準備しましょう。また、各家庭で、3日以上を目安に飲料水・食料および生活必需品を備蓄したり、食料などをローリングストック(普段の食事に利用するものを備蓄し、製造日の古いものから使い、補充する方法)するなど、日頃から準備しておきましょう。

指定緊急避難場所を確認

市が指定する指定緊急避難場所に「災害時避難所標識板」を設置しています。あらかじめ、市防災マップや市ホームページで、最寄りの避難場所を確認し、避難経路を実際に歩いて確認してください。

避難が遅れたときは、建物の2階以上へ!

夜間や激しい降雨時、道路冠水など避難経路上の安全が確認できない場合は、指定

緊急避難場所などへの屋外移動は極力避け、自宅等の2階以上に緊急避難してください。土砂災害で亡くなった方の10人の内9人は1階で被災しています。

災害時要援護者の避難に協力してください

災害時の避難で、特に支援が必要な方(災害時要援護者)は、地域支援者(区や自主防災組織の役員、消防団など)に個人情報を提供することに同意しています。「いつ・誰が・誰を・どこに」避難させるかをあらかじめ決めておく共助の取り組みをお願いします。

土砂災害から身を守ろう!

出水期には、集中豪雨や台風などの影響で、山間部などでは、土砂災害が発生しやすくなります。少しでも異変を感じたときは、早めの自主避難をお願いします。

土砂災害の前兆現象の例

- 急に川の水が濁る。
- 裏山からの変な音(地鳴り等)や土くさいにおいがする。
- 崖から小石がパラパラ落ちる。
- 崖の亀裂から水が噴き出す。